

Open Seminar

2016 4/8 Fri. 17:00～

農学生命科学研究棟セミナー室 (1)

Towards understanding and harnessing
dosage variation in plants



Dr. Isabelle M. Henry

カリフォルニア大学デービス校
ゲノムセンター & 植物科学科

Genome Center & Dept. Plant Biol.
University of California Davis

倍数化や異数化に代表される「ゲノム量依存的」な形質変化は、現存の農作物でも広く活用されているものの、その変化の原動力となる機構については多くが未解明です。また、ゲノムバランスの変化はこれまで正常に行われていた植物ゲノム中のネットワークに変化を来し、その再編成において、様々な適応進化や、結果として新規形質を有した種の分化などに繋がることが知られています。Henry博士は、次世代シーケンサーをはじめとした最新ゲノミクスを駆使して、倍数化やゲノムバランス変化に応答した形質変化・適応進化機構の解明やその利用開拓に挑んでおり、本セミナーではその一端をご紹介します。

農学部資源生物科学科・農学研究科農学専攻

セミナーに関するお問い合わせはこちらまで：takashia@kais.kyoto-u.ac.jp 果樹園芸学研究室・赤木